

令和6年度
事業報告書

令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで

公益社団法人 日本水道協会

〈 目 次 〉

令和6年度事業報告書

I	会員の異動及び現在数	1
II	事業報告	2
1.	水道の安全で安定した供給の継続を図るための事業(公益目的事業)	2
1)	水道用資機材の品質検査等(検査事業)	2
2)	給水装置等の品質認証(認証事業)	2
3)	水道水質検査優良試験所規範(水道G L P)の認定(審査登録事業)	3
4)	水道施設管理技士資格の認定(審査登録事業)	4
5)	専門書籍・協会雑誌・広報資料等の出版(出版事業)	4
6)	水道関係研修会(研修事業)	5
7)	国等が進める調査研究や国際貢献等の受託(受託事業)	6
8)	水道に関する調査研究(調査研究事業)	6
2.	所有不動産の賃貸(収益事業)	8
3.	水道賠償責任保険(その他事業)	8
4.	功績者表彰(その他事業)	8
5.	管理部門	8

令和6年度事業報告書

I 会員の異動及び現在数

会 員 別	令和6年3月31日	入会	退会	令和7年3月31日	増△減
名誉会員	4 名	0 名	0 名	4 名	0 名
正 会 員	1,323 団体	2 団体	1 団体	1,324 団体	1 団体
特別会員	344 名	16 名	28 名	332 名	△12 名
賛助会員	583 社	11 社	4 社	590 社	7 社
計	2,254	29	33	2,250	△4

Ⅱ 事業報告

1. 水道の安全で安定した供給の継続を図るための事業(公益目的事業)

1) 水道用資機材の品質検査等(検査事業)

検査事業委員会を1回開催した。

主な検査用品の検査数量は、次のとおりである。

品 種	単 位	検 査 数 量	対 前 年 度 比
鑄 鉄 直 管	トン	147,345	93%
鑄 鉄 異 形 管	〃	33,919	93%
塗 覆 装 鋼 管 直 管	〃	4,091	117%
塗 覆 装 鋼 管 異 形 管	〃	5,455	99%
亜 鉛 め っ き 鋼 管	〃	1,430	117%
硬 質 塩 化 ビ ニ ル ラ イ ニ ン グ 鋼 管	〃	3,410	123%
ポ リ エ チ レ ン 粉 体 ラ イ ニ ン グ 鋼 管	〃	1,214	203%
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	〃	1,822	74%
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 継 手	個	18,920	83%
ポ リ エ チ レ ン 管	トン	13,881	106%
弁 栓 類	個	278,496	95%
止 水 ・ 分 水 栓 類	〃	579,414	96%
ゴ ム 類	〃	4,521,043	92%
ボ ル ト ・ ナ ッ ト	本	10,964,019	99%

また、本協会では、検査事業の一環として産業標準化法に基づくJIS製品認証を行う登録認証機関として、平成17年11月に経済産業大臣の登録を受け業務を行っている。

令和6年度は、既に本協会から認証を取得している工場等に対する維持審査業務を中心として、29社の審査を行った。

なお、令和7年3月31日現在の認証取得者数は76社である。

2) 給水装置等の品質認証(認証事業)

認証制度運営委員会を1回、認証審査委員会を1回開催した。

認証登録品の登録件数及び品質確認を行った製品の数量は、次のとおりである。

令和6年度認証登録品登録件数

(単位：件)

	契約者数	登録件数	品質確認方法別の内訳		審査基準別の内訳	
			自社検査方式	抜取検査方式	基本基準	特別基準
令和6年度末	301	1,360	742	618	1,230	130
給水用具等	254	1,294	676	618	1,230	64
資機材	14	21	21	0	0	21
薬品	33	45	45	0	0	45

令和6年度品質確認数量

(単位：千個)

区分	自社検査方式	抜取検査方式	合計	(参考) 令和5年度実績
給水管	1,006	23	1,029	936
湯沸器類	244	1	245	337
家電機器類	1,921	33	1,954	2,797
水栓類	1,071	71	1,142	1,525
ボールタップ類	680	17	697	596
メーターユニット類	269	21	290	363
バルブ類	5,074	317	5,391	5,974
逆流防止装置	185	14	199	201
継手類	25,765	1,243	27,008	30,590
洗浄弁	79	0	79	223
水撃防止器	1	13	14	16
水栓柱	316	0	316	341
浄水器	372	1	373	525
ユニット器具類	1,288	0	1,288	1,600
その他	353	63	416	767
合計	38,624	1,817	40,441	46,791

3) 水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)の認定(審査登録事業)

水道GLP認定委員会を11回開催した。

令和6年度の審査状況は、次のとおりである。

- ① 新規認定審査 0機関
- ② 更新審査 33機関
- ③ サーベイランス審査 41機関

認定検査機関の合計 146箇所

※認定を行った水質検査機関については、水道協会雑誌及び本協会ホームページにおいて公表している。

4) 水道施設管理技士資格の認定(審査登録事業)

(1) 3級認定・登録結果

浄水施設管理技士 515名
 管路施設管理技士 198名
 浄水・管路両資格登録者 33名

(2) 1級・2級認定・登録結果

① 1級・2級資格試験実施概要

実施時期 令和7年1月19日

実施場所 全国6会場

② 1級・2級資格試験等

	受験者	合格者 (登録者)	特例申請者 (登録者)
1級浄水施設管理技士	108名	24名	6名
2級浄水施設管理技士	445名	196名	0名
1級管路施設管理技士	23名	4名	6名
2級管路施設管理技士	195名	75名	1名
計	771名	299名	13名

5) 専門書籍・協会雑誌・広報資料等の出版(出版事業)

会誌編集委員会を10回、抄録委員会を10回開催した。

令和6年度の主な出版物は、次のとおりである。

図書名	部数	図書名	部数
水道協会雑誌	月刊 5,100	水道統計	1,700
水道料金表	1,500	水道施設設計指針2024	3,000
震災等の非常時における水質試験方法(上水試験方法一別冊)2024	1,500	指定給水装置工事事業者研修テキスト2024	30,000

6) 水道関係研修会(研修事業)

(1) 水道に関する技術部門、経営部門の研修会を次のとおり開催した。

研修会名	回数	参加人員	時期	期間	会場
新任水道事業管理者研修会	1回	41名	8月	3日	市ヶ谷
水道事業管理職事務研修会	1回	36名	8月	2日	川口
水道事業事務研修会	2回	135名	6～7月	1回 4日以内	川口
未納料金対策実務研修会	4回	164名	6～9月	1回 2日	川口、大阪
消費税実務講座	1回	55名	7月	2日	川口
消費税基礎講座	1回	25名	6月	—	オンデマンド配信
企業会計基礎研修会	1回	67名	6月	1日	川口
水道基礎講座 〃 (オンライン研修)	4回 1回	315名 192名	5～6月 7～8月	1回 3日 —	川口、大阪 オンデマンド配信
水道技術管理者研修会	2回	142名	7月,10月	1回 2日	川口
水道技術管理者資格取得講習会	4回	320名	9～11月	1回 15日	川口、大阪 オンライン
水道技術者研修会 〃 (オンライン研修)	2回 1回	155名 36名	11～12月 12月	1回 9日以内	川口 オンデマンド配信
水道技術者専門別研修会	3部門	245名	1月～2月	1部門 4日	川口
水道技術者ブロック別研修会	7回	354名	5～8月	1回 1日	全国7会場
漏水防止講座	4回	211名	6,7,11月	1回 3日	東京都、大阪市
浄水場等設備技術実務研修会	12回	148名	6～2月	1回 4日	東京都、大阪市
配管設計講習会	11回	528名	7～10月 1,2月	1回 3日	全国7会場
配水管工技能講習会(小口径管)	86回	1,554名	4～7月 9～1月	1回 3日	全国14会場
配水管工技能講習会(大口径管)	41回	685名	4～10月 2,3月	1回 2日	東京都、名古屋市
配水管技能者登録更新時講習会 (大口径管)	12回	356名	5,7,8,12月 1～3月	1回 1日	東京都
水道施設耐震技術研修会	2回	155名	12月,2月	1回 2日	川口、大阪

研修会名	回数	参加人員	時期	期間	会場
水道事故防止研修会	2回	62名	11, 1月	1回 2日	川口、大阪
情報発信スキルアップセミナー	1回	253名	2月	1回 1日	市ヶ谷、 オンライン併用

※ 市ヶ谷：日本水道会館、川口：日本水道協会川口研修所、大阪：日本水道協会大阪会館、
東京都：東京都水道局研修・開発センター、名古屋市：名古屋市上下水道局人材育成推進室技
術教育センター、大阪市：大阪市水道局体験型研修センター

(2) 国際的な視野と見識を持った人材を育成することを目的として、水道事業体等
の職員を対象とした国際研修を実施し、次のとおり派遣した。

研修名	回数	研修人員	派遣先
国別水道事業研修	1回	8名	アメリカ

7) 国等が進める調査研究や国際貢献等の受託(受託事業)

受託した主な業務は、次のとおりである。

(1) 水道事業体等

経営調査関係 2件

(2) 独立行政法人国際協力機構

課題別研修「上水道施設技術総合」コース

8) 水道に関する調査研究(調査研究事業)

(1) 令和6年度全国会議

期日：令和6年10月9日～11日

開催都市：神戸市

参加者数：来賓 49名

会員等 3,372名

水道PRブース：水道使用者に水道への理解を深めてもらうため、各種企画・
展示を行った。

①第105回総会：会員提出問題の討議並びに功績者表彰を実施

②水道研究発表会：発表論文数 475編

なお、利便性向上等のため、水道研究発表会講演集を電子化した。

(2) 運営会議

水道に関する重要事項や諸課題について総合的な把握を行うとともに、その効
果的な課題解決に向けて審議するため、運営会議を3回開催した。

なお、会議終了後、令和7年度水道関係予算等について要望するため、また、
第105回総会における会員提出問題の討議の結果、国に解決を求めるべきとされ
た問題への対応のため、政府並びに国会議員に対して強力な陳情を実施した。

(3)委員会	
事務常設調査委員会（専門委員会を含む）	17回
工務常設調査委員会（専門委員会を含む）	14回
衛生常設調査委員会（専門委員会、部会を含む）	23回
(4)特別調査委員会	
水道施設設計指針改訂特別調査委員会（小委員会を含む）	6回
地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会（小委員会を含む）	12回
(5)諸会議	
水道事業管理者協議会	2回
水道技術管理者協議会	3回
中小規模水道問題協議会	2回
府県営水道連絡協議会	1回
地震等緊急時対応に係る連絡協議会	1回
地方支部協会事務担当者連絡会議	1回
支部・地区協議会協会事務担当者連絡会議	1回

(6)広報活動

第66回水道週間ポスターを作成し会員に配布するとともに、全国各地で開催された水道週間の各種行事に向けてパンフレット「みんなの水道2024」をはじめとする各種広報資料を作成した。

また、X（旧 Twitter）を活用し、水道界に関する情報や日々変化する水道を取り巻く状況などを迅速かつ幅広く発信した。

そのほか、全国会議や下水道展において、国民の水道への理解を促進するために各種企画・展示を行った。

(7)相談業務及び講師派遣

法律・経営アドバイザー等による専門的な相談への対応のほか、電話等による事務・技術に関する相談業務を行った。

また、水道事業体のみならず、広く気軽に相談できる場としてホームページでの相談窓口や水道事業相談ダイヤルの運用を行った。

そのほか、地方支部あるいは都府県支部等からの要請に基づき、会員主催の講習会、研修会等の講師として延べ62名の職員を派遣した。

(8) 水道に関する様々な課題の解決に向けて、幅広い研究・開発に取り組み、水道事業体や水道関連団体等と共同して、次のとおり調査・研究を実施した。

- ① 広域化及び公民連携推進に係る調査研究
- ② 業務指標(PI)に関する調査

(9) 水道が直面する問題解決に向けた審議や、各種調査研究、並びに技術的・経営的な知識習得のための研修をより効率的に行うため、地方支部、都府県支部等において地域の実情に応じた支部活動を実施した。

2. 所有不動産の賃貸(収益事業)

本協会が所有する有形資産を活用することにより、公益目的事業のための財源の充実を図ることを目的とし、日本水道会館等の一部を賃貸した。

3. 水道賠償責任保険(その他事業)

水道に起因する事故による損害賠償等のリスクを低減し、水道経営の安定性確保に資するため、損害保険会社と団体保険契約を締結し、本協会会員が被保険者として加入できる水道賠償責任保険業務を実施した。

4. 功績者表彰(その他事業)

水道の普及に貢献のあった功労者等を、会員によって構成する功績者審査会等において審査・決定した。

日本水道協会会長表彰	687名・4団体
①功労賞	13名
②特別賞	67名
③有効賞	9名
④勤続賞	598名
⑤水道イノベーション賞	4団体

5. 管理部門

1) 第104回総会

期日：令和6年6月27日 会場：砂防会館別館

出席社員数：出席社員 111会員、委任状提出社員 997会員 合計 1,108会員

2) 第105回総会

期日：令和6年10月9日 会場：神戸コンベンションセンター

出席社員数：出席社員 216会員、委任状提出社員 710会員 合計 926会員

3) 役員会

理事会 6回(うち書面開催1回)

監事会 1回